

ゲノム創薬基盤推進研究事業
(ゲノム情報研究の医療への実利用を促進する研究)
事後評価 評価コメント

研究課題名	オルガノイドを活用したPTEN遺伝子VUSの新規評価法の確立
所属	千葉県がんセンター（研究所）
研究開発代表者	筆宝 義隆

【評価コメント】

当初計画の一部は未達成となったが、ヒト子宮体癌オルガノイドを用いた定量的機能評価系を新たに確立し、約170種の多型を対象としたハイスループット解析体制を構築したことは、今後のPTEN研究に資する重要な成果である。当初目的とは異なるが、PTENに関する新たな基礎的課題を提起した点も評価できる。

一方で、in silico予測法の最適化や新規病的変異の生化学的解析、データ登録は現時点で未達成であり、論文・特許の成果も得られていない。今後は評価系の安定化、データ公開の加速、予測モデルの精度向上を図り、未達成項目の実施を進めることを期待する。

以上